

HIV 治療に関わる看護師交流会 & HIV 薬剤耐性に関するセミナー実施

(2022 年 10 月 27 日)

10 月 27 日、SATREPS プロジェクトの一環として、日越両国の看護師、公衆衛生専門家が集まり、それぞれで HIV 感染者への治療、服薬指導をどのように行っているか、知見や経験をシェアする交流会を行いました。異なる環境でも同じ課題に立ち向かう仲間同士として、双方の業務をビデオで紹介しつつ、悩みを共有し、解決方法等につき意見が交わされました。



日本の看護師の業務、視点を共有した NCGM の鈴木・HIV コーディネーターナース



両国の相違点、共通点を書き出しながら、自身の業務に参考にできる点を考えます。

午後は更に多くの医師が参加し、よりオフィシャルなセミナー形式で研修を実施しました。両国の専門家は、HIV 治療の大きな障害となり得る薬剤耐性ウイルスとは何なのか、どのように防ぐのか、HIV 感染者の服薬継続を促し、抗レトロウイルス療法（ART）をどう成功させるか等につき、議論を深め、学びました。



講義形式の午後にも多くの参加を得ることができ、日本・ベトナムの専門家の話を聞くことができました。



会場からも積極的な発言、質問がありました



JICA-SATREPS プロジェクト  
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と  
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



JICA・SATREPS プロジェクトは、今後も同様の活動を通して両国関係者間のネットワークを強化し、HIV 治療の技術向上に取り組めます。

